

総合教育会議（令和6年度第2回） 会議録（議事要旨）

日時	令和7年1月23日（木） 15時00分～16時00分	
場所	久留米市本庁舎20階 第3委員会室	
出席委員	原口 新五（久留米市長）	
	井上 謙介（教育長）	江頭 理江（教育委員）
	内村 直尚（教育委員）	御厨 千秋（教育委員）
	富永 孝太郎（教育委員）	小田 まり子（教育委員）
事務局	重石 悟（教育部長）	松野 誠彦（総合政策部長）
	平田 敬一（教育部次長）	四ヶ所 清隆（教育監）
	江頭 信人（教職員課長）	笠 一生（教育センター所長）
	深堀 尚子（総合政策課長）	
	稲益 久之（市民文化部高校総体担当次長（兼）体育スポーツ課長）	
	古閑 昭寛（学校規模担当課長）	渡辺 唯希（学校施設課長）
	中島 幸弘（学校施設課計画主幹）	飯田 智久（学校施設課設備主幹）
	石橋 豊裕（教職員課人事管理担当課長）	田中 浩之（学校教育課長）
	東野 淳（学校教育課指導主幹）	古賀 友理子（学校教育課学務主幹）
	田中 佳幸（学校教育課人権・同和教育担当課長）	原 英治（学校教育課主幹）
	深田 将（学校保健課長）	新村 敏（教育ICT推進課長）
	岡 佐智代（教育ICT推進課指導主幹）	轟田 知子（城島事務所長）
	外山 一博（三潞事務所長）	大久保 貴（総合政策課政策調整官）
	大鶴 信明（文化振興課長）	
報告者	城後 昌子（久留米市立城島小学校校長）	
	三栗野 正男（久留米市立青峰小学校校長）	

1 開会

重石教育部長（開会宣告）

2 あいさつ

原口市長 久留米市長の原口でございます。
令和6年度第2回目の総合教育会議の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。
今回は、小学校の統合の取組にあたりまして、少子化が進む久留米市の将来の姿についてお伝えしたいと思います。
また、本日は、城島小学校の城後校長、青峰小学校の三栗野校長に、ご出席いただいています。統合後の城島小学校の状況、統合に向けて取り組まれている青峰小学校の状況について、学校現場の状況をご紹介いただくことによって、実りある議論をしていきたいと思っております。
また、部活動の地域移行につきましては、本年度の取組を動画も交えて説明させていただきます。
限られた時間ではございますが、教育委員の皆さまと積極的な意見交換をさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

① 小学校の統合について－小学校校長との意見交換－

重石教育部長 それでは、議題「小学校の統合について」に進みます。

まず、事務局からの小学校の統合に関する資料を説明いたします。

その後、本日まで出席頂いておりますお二方から、小学校の統合に向けた学校の取組、子どもたちの様子などについて、お話しさせていただきたいと思っております。それでは、事務局説明をお願いします。

古閑学校規模
担当課長 (事務局説明)

重石教育部長 それでは、城島小学校の城後校長よろしく申し上げます。

城島小学校
城後校長 (学校現場の状況報告)

統合して4年目になるが、子どもたちは全体的に落ち着いている。保護者からの統合に関する不安の声や苦情は上がっていない。

統合に伴う課題として、①学校や学童の職員の業務、②地域との連携が挙げられる。

① 下田・浮島地区の児童は、学校や学童保育所に通う際、スクールバスやタクシーを利用している。それに伴い、登下校時のバス利用変更に関するバス会社への連絡や、下校時の乗車確認業務を行っている。バス担当の職員は1名配置されているが、8時45分から15時45分までの勤務となっており、一部の教職員が登校時の乗車に関するバス会社からの電話連絡対応のため、7時半から勤務している状況もある。今後、城島地域で統合が進み、バス通学の児童が増えることになれば、バス担当の職員の増員が必要であると考えます。また、学童保育所の職員は、通常の保育に加え、タクシー会社との電話連絡や保護者引渡しの確認業務など、他の学童にはない業務を抱えている。学童の職員を確保していくことも必須だと考える。

② 統合前の浮島小では運動会や田植えなどを地域と一緒に行っていましたが、統合して交流が無くなり、子どもたちの挨拶も少なくなったという意見があった。コロナ禍での統合ということもあり、下田・浮島地区との連携が図りにくかったという面もあるが、令和7年度からのコミュニティスクール導入を機に、地域と子どもたちが交流する機会を増やし、3つの地域との連携を密に図っていく必要があると考えている。

重石教育部長 続きまして、青峰小学校の三栗野校長、よろしく申し上げます。

青峰小学校
三栗野校長 (学校現場の状況報告)

学校統合の決定を児童、保護者へ知らせるにあたり、質問等にすぐ対応できるように教職員が理解を深めた上で通知を行い、不安の軽減を図った。また、統合に向けての不安や悩みを解決するため、全児童を対象に、スクールカウンセラーによる面談を行っている。高良内小と合同ケース会議を行い、児童の様子について情報共有を図っている。

オンライン交流や鑑賞会、体験授業等で交流を深めている。

統合に向けた課題として、新しい学校にスムーズに慣れることができるような学校運営に取り組む必要がある。

統合を機に、学校運営協議会（コミュニティスクール）を立ち上げるよう進

めている。

重石教育部長 ありがとうございます。
それでは、お話いただいた内容を踏まえて、ご質問やご意見等があればお願いいたします。

御厨委員 城島小のスクールバスについて、乗務員は運転手のみでしょうか。

城島小学校
城後校長 そのとおりです。

御厨委員 幼稚園のバスやスイミングスクールのバスには同乗者がおり、乗車確認や保護者への連絡を行っています。バスの対応は、教員である必要はないと考えます。

富永委員 「城島小学校統合後の状況アンケート結果」の保護者の回答に、「新しい環境にとまどったり、なじみにくさを感じるお子さんも一定数いたのではないかとありますが、その点について教職員の回答では課題として挙げられていません。学校として、こういった児童について認識され、フォローはされたのでしょうか。また、不登校の状況も教えてください。

城島小学校
城後校長 バス通学になり、乗車時間に間に合わなかったりして、学校に行きにくくなったという児童もいましたが、児童に合ったカウンセリングを行ったりすることで登校できるようになった事例があります。

富永委員 統合して複数の学級になることは総論的には良いことだと言えますが、取り残されてSOSを出せない児童が一定数いることを懸念しており、そういった児童の声をどう拾い上げて、どうフォローしていくかという観点が必要であると考えます。

 コミュニティセンターのイベントへ児童に参加してもらう場合、各地区の児童だけを招くのか、統合後の全体の児童を招くのか、城島小校区ではどう検討されていますか。また、青峰コミュニティセンターと、統合後の高良内小の児童との関係性をどのように考えますか。

城島小学校
城後校長 下田・浮島コミュニティセンターのイベントに、城島地区の児童が参加することは現時点ではあっていないため、今後は幅広く参加できるよう検討していきます。

青峰小学校
三栗野校長 青峰校区では高齢化が進んでおり、地域からは若い力が必要といった声も聞かれます。今後子どもたちの交流が深まっていくことで、それぞれの地域のイベントと一緒に参加することもあると思います。

原口市長 統合後の状況のアンケート結果に「下校時間が早く時間に余裕がない」とありますが、授業が終わってからどのくらいでバスが発車しているのでしょうか。

城島小学校
城後校長 帰りの会が終わってから10分後にはバスが発車します。

原口市長 10分では時間に余裕がない気がしますが、いかがでしょうか。

城島小学校
城後校長 バスの時間が15分遅れてしまうと、保護者への電話連絡が必要になります。

原口市長 先生方も大変かと思います。バスの対応については、決めようでどうにか
ならないものでしょうか。

古閑学校規模
担当課長 下校時のバスの発車時刻については、下田小及び浮島小の保護者と共に構
築した経緯があり、統合後も統合前と同じ時間帯に下校するようにしてほし
いとこの要望を受けて設定されています。アンケート結果から課題も見えてき
ましたので、次年度のスクールバスの運行体制について学校とも協議の上、
保護者と協議する際に、提案させていただければと思います。

小田委員 スマートフォンでバスの所在地が確認できたり、バスの発車状況が通知さ
れたりするようになると、保護者も安心できて、先生方の負担も軽減される
と思います。

重石教育部長 皆様、貴重なご意見ありがとうございました。
教育委員会としましても、青峰小については、一步一步統合に向けて進め
ており、城島小については、統合後の経過を見守っているところです。今後
の統合に向けて、スムーズに進められるよう引き続き取り組んでまいります。
それでは、続きまして議題の2点目「部活動地域移行について」につつま
して、動画を交えながら説明させていただきます。

学校教育課
東野指導主幹
坂口指導主任 (事務局説明)

重石教育部長 事務局からの説明が終わりました。
ご意見やご質問等ございましたらお願いします。

御厨委員 現行、男女で分かれている部活動は、そのまま男女別での移行となるので
しょうか。

学校教育課
坂口指導主任 中体連の関係もあり、現行どおりの移行となります。

御厨委員 技術面やチームワーク、モチベーションという観点から、男女合同で練習
する日があってもいいのではないかと思います。

江頭委員 部活動を外部の団体に移行するという理解でよろしいでしょうか。学校が
関与する部活動は、近い将来無くなるのでしょうか。

学校教育課
坂口指導主任 現在、休日に限って国が方向性を示しており、久留米市においても休日に限っての取組となります。最終的には、休日の部活動は学校外での活動となることを見込んでいます。なお、平日については、これからの議論となります。

江頭委員 休日の先生方の負担軽減という点では理解できますが、外部のスポーツクラブに最初から入った方がよいという発想に至ることはないのでしょうか。

学校教育課
坂口指導主任 既存のクラブチームは数が少なく、競技によっては無い場合もあるため、活動場所の確保が課題と考えます。今後、出来るだけ子どもたちが自転車で通える範囲内に、地域クラブを整備していければと考えています。

内村委員 先日県から、体育系の学部がある大学の学生に指導をしてもらいたいとの依頼がありましたが、市と県は連携しているのですか。

学校教育課
坂口指導主任 県と情報共有しながら取り組んでいる部分もあります。久留米市の検討協議会に、久留米大学の野田教授に入っていていただいており、学生の協力の話もいただいておられますので、是非一緒に取り組ませていただきたいと思います。

内村委員 学生が指導するのでしょうか。

学校教育課
坂口指導主任 今後協議を詰める必要がありますが、学生のみなさんにご協力いただくこともあるかと思います。

内村委員 今はどのような方が指導されているのでしょうか。

学校教育課
坂口指導主任 自営業の方や、仕事を引退された世代の方が多いです。

内村委員 それらの方々はどのようにして募るのですか。

学校教育課
坂口指導主任 各学校と繋がりがある方にお声かけしたり、市のホームページで募集をしています。

原口市長 指導の際はチームリーダーが必要になりますが、誰が決めるのでしょうか。

学校教育課
坂口指導主任 合同顧問会議を開いた際にチームリーダーを決めて、目標などを共有し、活動を進めています。

原口市長 スポーツ人口が少ない競技の指導者は、経験者でなくてもよいのでしょうか。

学校教育課 経験の有無は不問ですが、全員が未経験者となると難しいところもありま
坂口指導主任 すので、外部の方に協力をお願いしたいと考えております。

原口市長 今までも教員の先生が未経験で指導されていたと思いますので、愛情と熱
血を持ってご指導いただければと考えます。

重石教育部長 それでは予定していた事項は終わりました。
市長から何かございますでしょうか。

原口市長 統合に関するバスの課題等については、専門的な意見をもらいながら、丁
寧に協議を進めてもらいたいと思います。

重石教育部長 (閉会宣告)